

貝が作る宝石 美しい真珠図鑑

真珠は、母貝によって色や形も様々で、それぞれの美しさがあります。



写真提供/ミキモト真珠島 ミキモト真珠博物館

5 10 17

[シロチョウガイ]

インド洋に分布する貝。大きくて重い殻の内側は、虹色にかがやく。

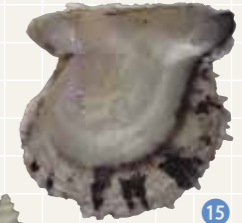


写真提供/赤松 蔚

11

[アコヤガイ]

日本の真珠養殖の代表品種で、世界中の海で数種類が分布する。ピンクやブルーの光沢の真珠もできる。



15

[ピンクガイ]

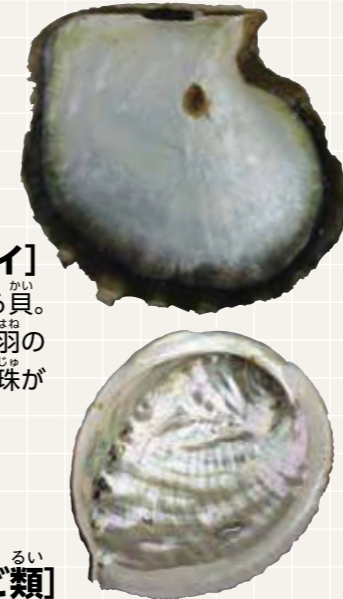
主にカリブ海に分布する大型の巻貝。天然の真珠はめったになく、養殖もしていないので貴重。



9 12

[クロチョウガイ]

熱帯の海に分布する貝。深緑色にクジャクの羽のような光沢をもつ真珠ができる。



7

[アワビ類]

アワビ類の真珠は半円のものが多い。養殖がむずかしく、真珠は貴重。

1 2 3 4 6 13 16

[ヒレイケチョウガイ]

中国の揚子江流域の沼や湖に分布する貝で、淡水真珠（川や湖にすむ貝が作る真珠）の養殖に盛んに使われている。



写真提供/赤松 蔚

8 淡水にすむ二枚貝の真珠で、くわしい種類は不明。

14 ダイオウイトマキボラの真珠。ホラガイの仲間、ごくまれに白色、赤色、オレンジ色の真珠をつくる。

●真珠のかがやきと色のひみつ

真珠は、体内の異物を核として、そのまわりを外とう膜の分泌液でおおったものです。おおっている部分は、炭酸カルシウムのアラゴナイト結晶とタンパク質でできた薄い層が、何重にも重なっています。この層の厚さが少しずつ異なるために、光の反射が異なり、虹色のつやを生み出します。

左ページの④と⑬の真珠のつやは、①～⑬の真珠とは異なる構造によるものです。ピンクやオレンジに見える構造の色素をふくむ炭酸カルシウムで形成されているので、写真のような色になります。

